



■ 学校教育目標

『自ら・共に拓く堺小っ子』

- 進んで考える子
- 思いやりのある子
- 心と体をきたえる子

発行日：令和4年10月20日

常にどういふ力を 仕切り直しの発表会 成長した子供たちの姿を

【目標】

- ・無償提供いただいているため、感謝の気持ちを伝える。
- ・浦河地区で獲れる有名な食材「銀聖」について知る。

【育成をめざす資質・能力】

- ・想像力・自主性・自己判断力

【育成をめざす道徳性】

- ・感謝・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度

【アプローチの視点】

- ・教科等横断的な視点→道徳・社会・生活・家庭科等

学校便りでお知らせしています、学校給食で日高定置漁業者組合から無償提供された鮭の「銀聖」へのお礼の手紙作成の取組についてですが、いただいたからお礼の手紙を出しましょうという方法論からの発想ではなく、このことを通して、どういう資質・能力を、どういう道徳性を育てていくか、目的、原点に立ち返って考えた末、左記の目標、育成すべき資質・能力・道徳性の育成等を目指し、①食育だよりを各学級で読み「銀聖」について知る②感謝の気持ちで挨拶をし給食をいただく③感謝の気持ちを手紙に書く、という取組に全校あげて取り組んだ次第です。

本校は以前にもお伝えした通り、原則、「学びの本質とともに、その学びを通して、どんな資

質・能力を育成していくのか、子供たちに伝え、そのためにどんな目標(課題)を、また、どう行動しなければならぬか、自身で、みんなで対話しながら考え、見通しをもち協働して課題解決に取り組む。そして、学びを振り返り、今後の活動や実生活に繋げていく」というスタンスで取組を進めています。上記の取組も、このスタンスに基づいた取組となっています。

そして、いよいよ明日に迫った『学習発表会』も、同様に、上記の学びのスタンスに基づいて取り組んできました。4-2の学級通信に『運動会の時のように、「学習発表会は何のためにやるのか」みんなで話しをしました。みんなから出た考えは「他の人と楽しんで笑うため」「親に成長を見せるため」「クラスの人と仲良くするため」「違うクラスの人とも協力できるようになるため」の4つです。学校は社会の縮図という話をよくしています。普段あまり関わりのない人とも協力して絆を深めていくことでまた新たな成長につながります。学習発表会を通して、4年生の絆を深め、レベルアップしよう！！』といった記載がありました。

学校便りでお伝えしています今月12日(水)に行った『総練習』では、上記のことを踏まえて取り組んできたことが、各学年の発表からもしっかりと伝わってきました。各学年の発表の後、会場にいた他の学年より感想やアドバイスをしてもらった時間があったのですが、どの学年からも素晴らしい点だけでなく改善点も出されていました。これは、しっかりと「何のために」という目的意識をもって取り組んできたからこそと感じました。明日、子供たちの成長した姿、上記のような取組で力をつけたことが伝わってくる発表を楽しみに来てください。明日のお越しをお待ちしています。